土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

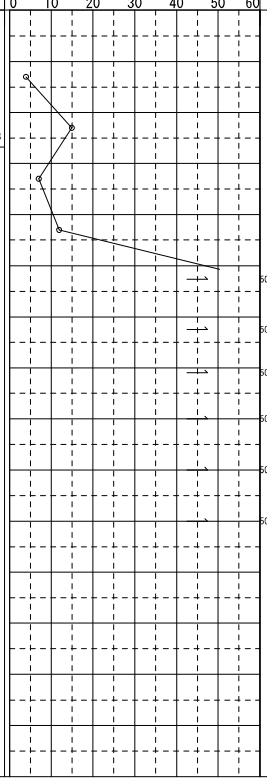
調査名	坂町災害公営住宅整備に伴う地質調査委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	建築　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R1-KS-5	調査位置	広島県安芸郡坂町北新地二丁目3　地内	北緯	34° 21′ 03.8704″
発注機関	広島県土木建築局営繕課（住宅営繕GL）	調査期間	令和元年 6月12日～ 令和元年 6月13日	東経	132° 31′ 11.6799″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 3.60m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-B50型
					エンジン：ヤンマー　TF120V-E型　ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1～2	0.80	2.80		玉石混り砂礫		暗褐	rd2		盛土 ・最上位は公園タイル敷設部(D=0.05m) ・以下GL-0.15mまでコンクリート ・確認石長L=10～20cm程度の粗石が混入 ・概ねクサリレキが主体であるが、場所的にやや堅硬な岩塊片が点在 ・礫はφ70mm程度以下の中～粗礫 ・基質部は細～粗粒砂から成り粒度不均一 ・φ5mm程度以下の鉱物片及び細礫を不規則に挟む	6/13 2.68
3～4	-1.00	4.60		礫混り砂		淡褐	rd2		盛土 ・φ30mm程度以下の中～粗礫が混入 ・砂は粗粒砂主体であり、φ5mm程度以下の鉱物片及び細礫を含み粒度不均一 ・細粒分に欠如、全体に含水比高い ・GL-3.70～3.95m間、確認石長L=25cm程度の粗石が点在	
5	-1.50	5.10		礫混り砂		灰緑	rd2		海成堆積物 ・φ30mm程度以下の円磨度高い中礫が混入 ・砂は細～粗粒砂から成り、黒灰の底質汚泥状のシルト質砂をシーム状に挟む ・貝殻砕片及び腐槽が点在	
6～7	-4.40	8.00		花崗岩		淡褐			黒雲母花崗岩風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は部分的に岩芯を残すが、概ね土砂状を呈す	
8～10	-6.40	10.00		花崗岩		淡灰			黒雲母花崗岩(CM) ・岩相不均質でやや斑状を呈す粗粒黒雲母花崗岩 ・岩質は概ね新鮮かつ堅硬 ・採取試料は短柱状主体であり、ハンマーの打撃で軽い金属音を発する ・コア肌はやや粗面～滑らか	

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	1	2	1	4/300		
	1.45						
15	2.15	7	4	4	15/300		
	2.45						
7	3.15	3	2	2	7/300		
	3.45						
12	4.15	8	2	2	12/300		
	4.45						
50以上	5.15	14	30	16/30	60/230	230	
	5.38						
50以上	6.15	25	35		60/200	200	
	6.35						
50以上	7.05	60			60/90	90	
	7.14	90					
50以上	8.00	貫入不能			60/0	0	
50以上	9.00	貫入不能			60/0	0	
50以上	10.00	貫入不能			60/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				6/12
				6/13